

す・とうぶだより

2020-04月号

月ヶ瀬社会福祉

フエステイバル。

2月に月ヶ瀬中学校で行われた社会福祉フエステイバルにて、地域おこし協力隊3名で約1時間、しゃべらせていただきました。

地域おこし協力隊の活動について中学生向けに話してほしいとのご依頼でしたので、

- ・どうして都会から田舎に？
 - ・なぜ奈良市東部だったのか？
 - ・協力隊になった理由は？
 - ・ミッションはどんなこと？
 - ・協力隊になる前の仕事は？
 - ・任期終了後はどうする予定？
 - ・・・・などなど。
- 三者三様、それぞれ違う理由があります。
- 各々がこの発表を通じて、現段階での自分の活動を振り返ることができ、ありがたい機会となりました。
- (加藤)



月ヶ瀬小中学校の武道館が会場



(上) 破砕機
(下) 破砕したチップ

2月に兵庫県養父市へ竹破砕機の講習に行ってきました。

「竹」は昔から日本人の生活に欠かせないものであり、竹細工・支柱や筏・家の建材等に利用されていましたが、化学製品の台頭で竹産業が衰退し、荒廃竹林が広がっているのが現状です。

全国各地で地域の方々や協力隊員が竹林整備活動を行っている事例も増えてきています。

昨年、田原公民館の竹の講座に参加して徳島県の方から、竹の利活用の例として、「チップやパウダー」にし、土壌改良に活用している事を教わり、東部地域でも可能ではないかと考えるようになった。

今回は、実際に機械の操作を学ぶことだけでなく、事業化のヒントも教わり、任期終了後の起業の一案と考えています。

(松村)

竹 破砕機の講習を受講。

ハーブ・スパイスの視察！

3月に滋賀県長浜市へ視察に行ってきました。
美容室をしている藤岡さんという方の畑を見せていただきました。

藤岡さんは自分の畑でできたハーブやスパイスを使ってシャンプルー・ヘアオイルやハーブティーを作っています。

畑を始めて3年目になりますが、1年目は獣害被害が多く、この畑では出来ないと思っていたそうです。

2年目からは、ハーブの効果があつたのか、獣害被害がぴたりとなくなつたそうです。

今年はハーブやスパイスを中心に畑設計をしようと考えており、獣害被害の減少や収量の安定化を目指します。

そして自分が作った畑からの作物を使ったカレー屋が出来ればと考えています。

(青野)



育てているハーブの種類